

# みらいりんぞうの

# 「みらいのつとめ」散歩

昨年9月に実施した「イメージキャラクター総選挙」で最多得票で1位に輝き、市のイメージキャラクターに決定した「みらいりんぞう」。

この特集では、未来からやってきたヒバリの子「みらいりんぞう」と一緒につくばみらい市の「良ところ」をめぐり、その魅力を紹介していきます。



福岡堰付近の小貝川上空写真。遠くには筑波山が浮かぶ

## 小貝川沿いの見どころを楽しむ①

県南と県西地域に流れる小貝川。この小貝川沿いに全長38・5キロに渡って続く道が昨年9月に「新日本歩く道紀行・水辺の道100選」に認定されました。「水辺の道」に認定された「小貝川・関東三大堰を巡る歴史ウォーキング」コースは、JR取手駅を起点に豊田堰・岡堰・福岡堰をめぐりながらTXみどりの駅まで小貝川沿いを歩くコースです。このうち、つくばみらい市では福岡堰から岡堰（取手市）までがコースに含まれています。

この道は小貝川サイクリングロードとしても親しまれています。道沿いには、関東三大堰であり桜の名所でもある福岡堰、岡堰（取手市）や、歴史的な見どころとして間宮林蔵記念館や

小目沼橋などがあります。

今回、みらいりんぞうが訪れたのは「福岡堰さくら公園」。福岡堰に程近い約2・7畝の面積を持つ公園です。

平成18年の3月に完成したこの公園は、福岡堰周辺のうるおいある昔ながらの景観を活かしながら、生態系に配慮した『水と緑のふれあい空間』として、



人々が集い、憩うことのできる場を目的としてつくられました。

公園内には、水遊び施設と大型複合遊具があり、芝生が植えられているのでレジャーシートを広げてくつろぐことができます。水遊び場の水深は浅く、小さい子どもでも安心して遊べるようになっていきます（親水施設の利用期間は7月1日（金）から8月31日（水）まで）。

休日になると園内の木陰にレジャーシートを広げ、お弁当を食べたり、スポーツを楽しむ家族連れの姿も多く見られます。

福岡堰から川沿いを南下していくと、小目沼橋があります。この橋は、昭和31年に小貝川兩岸の村（下小目と平沼）を結ぶ



▲▼福岡堰さくら公園を散策するみらいりんぞう。広い園内には水遊びができる施設のほか、たくさんの木が植えられており、木陰でゆっくりと過ごせるのも魅力。



詳しく知りたい方は市観光協会HPへ！  
<http://mirai-kankou.com/>

## 小目沼橋



ためにつくられた木製橋です。橋幅は狭く1・5mほどで、柵手はありません。木橋のため車では通れません。木橋のあるその風景は、市内にあるワープステーション江戸と同様に、映画やドラマの撮影にたびたび使用されるほど。このあたりはシーズンになると、たくさんの釣り客が訪れる釣りスポットでもあります。